

継続研修を認定する際に基準となる研修目標

項目	テーマ	継続研修を認定する際に基準となる研修目標
① 産業看護総論	1.産業看護の歴史と展望	産業保健看護のあゆみと発展ならびに産業保健における看護職の役割と職務を理解し、将来に向かっての産業保健看護の方向性を探ることができる。
	2.労働衛生行政と関連法規	労働衛生行政と関連法規の動向を理解し、産業保健看護活動に役立てることができる。
	3.労働と生活	労働が生活に与える影響、生活が労働に与える影響について理解し、産業保健看護活動に役立てることができる。
	4.労働災害と補償	労働災害の実態と補償の現状について理解し、産業保健看護活動に役立てることができる。
	5.リスクマネジメント	労働による健康現象の疫学的な捉え方について理解し、産業保健看護活動に役立てることができる。
	6.産業と環境	産業社会の今日的問題について理解し、産業保健看護活動に役立てることができる。
	7.倫理の理解と実践	産業保健活動における倫理を理解し、産業保健看護活動に役立てることができる。
② 総括管理	1.労働安全衛生マネジメントシステム	労働衛生マネジメントシステムを理解し、産業保健看護活動に役立てることができる。
	2.総括管理概論	総括管理への理解を深め、産業保健看護活動に役立てることができる。
	3.産業保健計画の立て方と評価	産業保健計画の立て方と評価について理解し、産業保健看護活動に役立てることができる。
	4.情報管理	よりよい活動を行うための情報管理のあり方ならびにプライバシーの保護についての考え方を理解し、産業保健看護活動に役立てることができる。
	5.産業保健体制の構築	産業保健体制を構築するために、専門職だけでなく組織人としての産業保健看護職の役割が理解できる。
	6.社内部門・外部機関との連携	事業場内外の他部門と円滑の連携するための産業保健看護職の役割が理解できる。
	7.健康危機管理	健康危機管理の発生前、発生時、発生後における産業保健看護職の役割が理解できる。
③ 健康管理	1.健康診断と事後措置	事業場で実施されている健康診断の種類と目的を理解し、それらの健康診断における産業保健看護職の役割と事後措置のあり方が理解できる。
	2.作業関連疾患	労働と疾病の相互に及ぼす影響について理解し、作業関連疾患対策において産業保健看護職として貢献すべき事項について考えることができる。
	3.メンタルヘルス対策	職場におけるメンタルヘルスケアおよびメンタルヘルスケアにおける産業保健看護職の役割が理解できる。
	4.職場復帰支援	職場復帰支援および職場復帰支援における産業保健看護職の役割が理解できる。
	5.健康教育・健康の保持増進対策	産業の場における健康教育、健康づくりの意義を理解して、健康教育の進め方、健康づくり活動における産業保健看護職の役割が理解できる。
④ 作業管理	1.人間工学	人間工学とは何かを理解し、産業保健看護活動に役立てることができる。
	2.作業管理概論	作業管理の概要ならびに作業管理における産業保健看護職の役割が理解できる。
⑤ 作業環境管理	1.安全リスクマネジメント	労働安全における産業保健看護職としての役割を果たすための必要な知識を得ることができる。
	2.労働環境と健康問題	労働環境と関わり深い健康問題について理解し、産業保健看護活動に役立てることができる。
	3.作業環境管理概論	作業環境管理の概要ならびに作業環境管理における産業保健看護職の役割が理解できる。
	4.有害業務（化学物質・物理的要因・生物学的要因による健康障害防止対策）	化学物質・物理的要因・生物学的要因による健康障害防止対策を理解し、産業保健看護活動に役立てることができる。
	5.快適職場の形成及び福利厚生施設の衛生管理	快適な職場の形成についての目標（福利厚生施設も含む）、措置内容（受動喫煙対策、疲労軽減措置も含む）、考慮すべき事項を理解し、産業保健看護活動に役立てることができる。
⑥ 労働衛生教育	1.労働衛生教育	産業現場で必要とされている労働衛生教育の種類と目的を理解し、それが効果的に行われるための産業保健看護職の役割が理解できる。
⑦ 職場巡視	1.職場巡視	職場巡視の意義を理解するとともに職場巡視における産業保健看護職の役割が理解できる。
⑧ その他	上記以外	これからの産業保健看護活動に役立てることができる。